

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成29年度～平成33年度（5年間）																									
事業実施地区名 （都道府県名）	（るもい） 留萌森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 るもいなんぶ 留萌南部森林管理署																									
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の北西部に位置する、留萌市を含む1市3町に所在する国有林約61千haを対象としている。</p> <p>本森林計画区は暑寒別岳を最高峰とし、留萌川、小平薬川、古丹別川等の集水域となっており、山地では、ミズナラ・シナノキ・カンバ類・トドマツ等が混交する天然林と昭和30年代以降に造成されたトドマツを主とする人工林で構成されている。それらの河川の上流部を占める国有林野は、下流域の市町の水源となっており、農地や沿岸環境の保全に配慮する必要から、水源涵養機能及び山地災害防止機能の発揮を重視した管理経営を行うこととしている。</p> <p>なお、本計画区は漁業の盛んな地域であり、特に、にしん漁で繁栄した時期には薪炭材の採取や山火事等によって笹生地等が拡大したことにより森林資源が減少した過去がある。このため、山地災害等の防止機能や生物多様性保全に資する森林を造成する事を目的に、地域住民、漁業協同組合及びNPO等法人と連携した「にしんの森再生プロジェクト」を実施するなど、地域の基幹産業と密接に関係した取り組みにも注力していくこととしている。</p> <p>また、本計画区内には、優れた自然環境・景観を成す森林が多くあり、それらの自然環境保全等に対する要望も高く、原生的で学術的に貴重な森林や野生生物の生息に適した森林、遺伝資源の保存に必要な森林を保護するための管理経営を行い、地域の基幹産業である農業、漁業の繁栄に繋がる適切な森林の管理経営を行うこととする。</p> <p>本事業は、これらの地域の期待や要請に応えるとともに地球温暖化防止にも積極的に寄与するために必要な植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施する。</p> <table border="0"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>213</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>11,473</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.6</td> <td>Km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.7</td> <td>Km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>1,337,600</td> <td>千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	213	ha			保育面積	11,473	ha		路網整備	開設延長	6.6	Km			改良延長	0.7	Km	総事業費			1,337,600	千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	213	ha																								
		保育面積	11,473	ha																								
	路網整備	開設延長	6.6	Km																								
		改良延長	0.7	Km																								
総事業費			1,337,600	千円																								
費用対効果分析	総 便 益 (B)	18,066,271 千円																										
	総 費 用 (C)	2,019,618 千円																										
	分析結果 (B/C)	8.95																										
森林管理局事業評価 技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業を実施することが妥当であると考えます。																											
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、山地災害防止機能等の発揮が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全、地域の基幹産業である漁業、過去の資源の減少による生物多様性への影響などの観点からも事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 本地域は、地域の水源として基幹産業である農業の振興に資する役割のほか、山地災害の防止に対する機能の発揮が求められ、計画的な森林整備により資源の回復が見込まれ、森林の有する機能の発揮が十分に発揮されることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																											

別紙様式7

整理番号2

便 益 集 計 表

事業名:森林環境保全整備事業
事業実施地区名:留萌森林計画区(るもい)
(都道府県名:北海道)

事業実施主体:留萌南部森林管理署

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 (千円)	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	3,093,877	
	流域貯水便益	1,112,454	
	水質浄化便益	2,424,291	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,697,429	
環境保全便益	炭素固定便益	2,118,884	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	159,800	
	木材利用増進便益	689,578	
	木材生産確保・増進便益	3,528,196	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	3,720	
	森林整備促進便益	238,042	
総 便 益 (B)		18,066,271	
総 費 用 (C)		2,019,618	
費用便益比	B ÷ C =		8.95

森林環境保全整備事業 留萌計画区(北海道) 事業概要図



対象計画区拡大図

